

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：下保 修

事業の概要

事業名	一般国道201号 香春拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：福岡県田川郡香春町鏡山字カラ川 至：福岡県田川郡香春町鏡山字荒堀	延長	2.1 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道201号は、福岡市から飯塚市・田川市を経て行橋市に至る延長約6.4kmの幹線道路で、当該区間は、平成6年1月に策定された「広域道路整備基本計画」の交流促進型の筑豊横断道路の一部区間である。</p> <p>当該区間は、筑豊地域を結ぶ唯一の幹線道路で地域の物流交通を担っているが、大型車混入率、混雑度、死傷事故率が高く、また一部区間では渋滞が発生するなど、安全性や信頼性が求められている。</p>					
<p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>香春拡幅は、当該地域の基幹産業であるセメント産業並びに近年著しい発展を遂げている北部九州に集積する自動車関連産業等の物流を支援する重要な路線であり、安全性・信頼性の向上、定時性の確保、効率的かつ安定した物流交通の支援、並びに関連道路整備と併せて筑豊地域の交通ネットワークを形成し、筑豊地域の地域経済・産業の活性化、さらには新たな産業の創出に寄与する重要な路線である。</p>					
全体事業費	31億円	計画交通量	30,100~32,200台/日		
<p><b>事業概要図</b></p>					

**関係する地方公共団体等の意見**

筑豊横断道路建設促進期成会（会長：飯塚市長）により、国土交通省、九州地方整備局に対し、毎年2回程度の整備促進要望を受けている。

※S46.8に一般国道201号筑豊横断道路周辺の自治体8市21町村にて発足

**事業採択の前提条件**

便益が費用を上回っている。

沿線自治体の要望もあり、円滑な事業執行環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.7	総費用：29億円 （事業費：21億円 維持管理費：8.1億円）	総便益：108億円 （走行時間短縮便益：101億円 走行費用減少便益：2.3億円 交通事故減少便益：4.8億円）	基準年 平成19年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=3.3 (交通量 -10%)	B/C=4.1 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=3.4 (事業費 +10%)	B/C=4.0 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=3.6 (事業期間 +20%)	B/C=3.8 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	○	渋滞損失時間の改善が見込まれる 【渋滞損失時間の改善】 当該区間：24.7万人時間/年 （H18現況・H17センサNO：1050） 削減量(当該区間)：14.0万人時間/年 【1kmあたりの渋滞損失時間】 当該区間：4.2万人時間/km年 （渋滞発生頻度62%） 県内349箇所中第249位	
		事故対策	○	事故の減少が見込まれる 【死傷事故率】 当該区間の最大死傷事故率 ● 871件/億台キロ（岩原口交差点） ● 九州上位1/4該当	
	歩行空間	○	両側歩道の整備により歩行者・自転車の安全性が向上する。		
	住民生活	○	交通混雑の緩和により、地域住民の円滑な移動が確保できる。		
	地域経済	○	北部九州に集積する自動車関連産業の物流効率化支援。筑豊地域と北九州空港、重要港湾苅田港をネットワークする。		
	災害	-	注目すべき影響はない。		
社会全体への影響	環境	○	沿道環境（騒音）改善便益：7.6百万円/年 沿道環境（CO <sub>2</sub> 排出量）改善便益：1.2百万円/年 沿道環境（SPM排出量）削減量：0.1t/年 沿道環境（NO <sub>x</sub> 排出量）削減量：0.6百t/年		
	地域社会	○	日常活動圏中心都市間の連絡 （行橋市[人口約7万人]と田川市[人口約5万人]の都市間を連絡する道路である。） 田川市役所～行橋市役所の所要時間41分→40分		
事業実施環境		筑豊横断道路建設促進期成会から積極的な要望活動が行われており、地元の期待も大きい。			

採択の理由

費用対便益が3.7と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。

この道路の整備により、安全性・信頼性の向上、定時性の確保、効率的かつ安定した物流交通の支援、並びに関連道路整備と併せて筑豊地域の交通ネットワークを形成し、筑豊地域の地域経済・産業の活性化、さらには新たな産業の創出に寄与し、その効果は高いものと判断される。

以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。